

東伯耆の中世城館

令和3年2月21日
埋蔵文化財センター 大川泰広

中世城館とは

1 はじめに

- (1) 中世城館再調査事業
- (2) 今回の調査研究

3 「文献に出ない謎の城」

- (1) 四十二丸(よどにまる)城
- (2) 大谷城

2 「畝状堅堀のある城」

- (1) 妙見山(みょうけんやま)城
- (2) 田内(たうち)城
- (3) 蛇山(じゃやま)城

4 今後の取組

中世城館とは

主に鎌倉時代、室町時代に軍事的な防御施設として構えられた城郭や、平時の居住施設として構えられた館



1 はじめに

(1) 中世城館再調査事業

1818(文政元)年 郡絵図と因伯古城跡図志を作成。 因68 伯33

1998~2003年度に悉皆分布調査。 因292 伯212

□遺漏や錯誤、成果の検討も不十分。令和元年度から再調査をスタート。

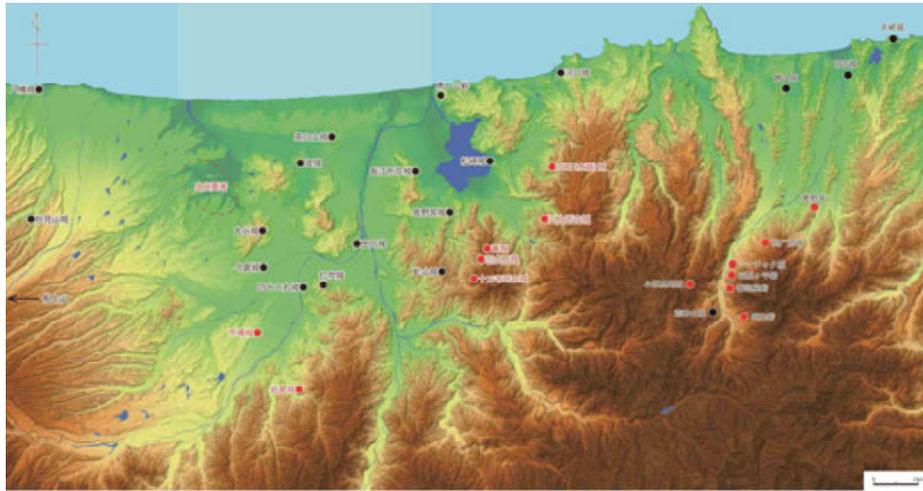
(2) 今回の調査研究

□目的 令和元年度から引き続き、天正8・9年頃に織田方、毛利方による合戦

西因幡・東伯耆地域は大変な緊張状態

- ・各地に構築された特徴的な城館 「畝状堅堀のある城」
- ・大規模ながら文献に表れない城館 「文献に出ない謎の城」

→東伯耆における合戦の様相を探る



●毛利方(吉川元春)のお城 ●織田方(羽柴秀吉)のお城

天正8・9年前後の東伯耆・西因幡の情勢

2 「畝状豎堀のある城」

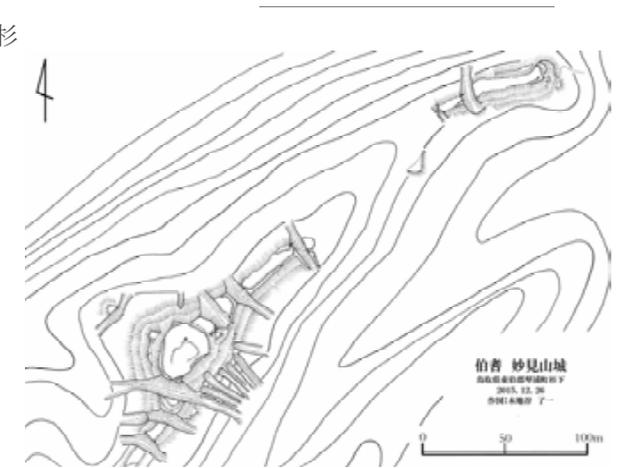
(1) 妙見山城

鳥取県東伯郡琴浦町大杉

標高170m(比高110m)

- ・高切岸
- ・堀切
- ・長大な畝状豎堀

○八橋城と船上山の軍事ライン強化のために設けられた付城



主曲輪平坦面の様子

畝状豎堀の様子

主郭前面の切岸と下方の曲輪

主郭後背の切岸

(2) 田内城

鳥取県倉吉市巖城

標高58m(比高45m)

- ・長大な畝状豎堀

○天正7年に織田方に転じた羽衣石城(南条元統)と岩倉城(小嶋元清)との間を遮断する位置にあり、天正8年に毛利方が攻略。





主曲輪の模擬天守



横堀の様子



横堀と切岸



縦堀の様子

(3) 蛇山城

東伯郡湯梨浜町蛇山

標高330m(比高250m)

・畝状堅堀

○天正9年8月 栗尾(蛇山城の麓)で織田方(南条)・毛利軍との合戦が行われている。



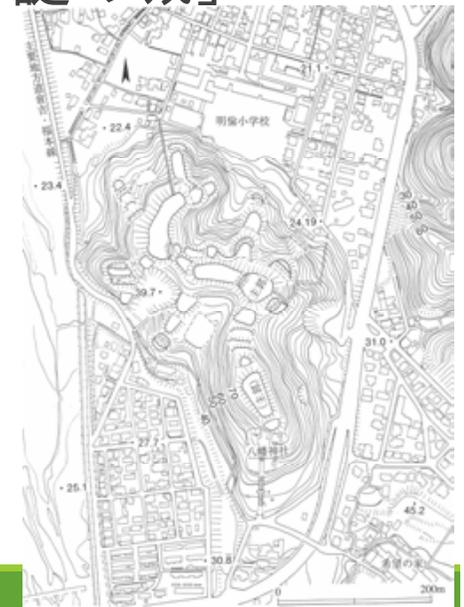
3 「文献に出ない謎の城」

(1) 四十二丸城

鳥取県倉吉市余戸谷町

標高90m(比高70m)

- ・長大な曲輪
- ・高い切岸
- ・堀切
- ・横堀



主曲輪の様子



主郭北東の堀切



畝状堅堀の様子



主曲輪から打吹城を望む



主曲輪の曲輪面

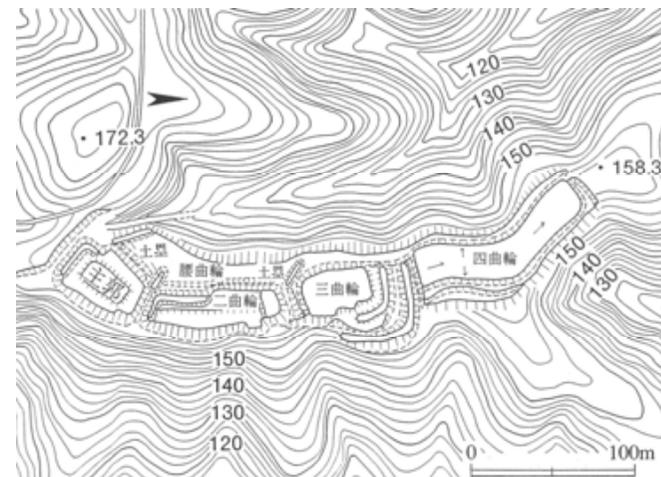
堀切の様子

(1)大谷城

鳥取県倉吉市大谷・上神

標高170m(比高140m)

- ・長大な曲輪
- ・高い切岸
- ・堀切
- ・横堀



曲輪面の様子



切岸の様子



横堀に接する切岸



堀切の様子

4 今後の取組

○→出土遺物、遺構 城館の年代観、志向性

東伯耆における合戦の一端に迫る。

